



学校園だより

# 良樹細根

丹波篠山市立  
たまみず幼稚園  
城北畑小学校  
6月の1



## 自然の中で幼児教育を

「丹波篠山には自然がいっぱいありながら、与えられた遊具で遊び、自然との触れ合い、自然体験、自然を活かす保育ができていないのではないかと。幼児教育の新しい風を丹波篠山から発信しては・・・」これは、平成29年4月、王地山公園ささやま荘で丹波篠山文化会議総会が開催されたとき、講師の出原 大先生（松山東雲女子大学：愛媛県）の言葉です。自然に触れ、多様な体験のなかで育った子どもは、脳の発達レベルが高いと言われています。先日は園庭の梅もぎを行いました。アブラムシやテントウムシの幼虫を発見し、幼虫は葉っぱと一緒に虫かごに入れていました。もいだ梅はさっそく水洗いし、部屋に入ってヘタ取りをしました。ただ今、梅ジュース準備中です。また、昨年プランターに植えていた小さな玉葱の苗が年を越して大きくなったので収穫をしました。まっすぐに引き抜く子、斜めに引き抜く子、2人で引き抜く子等、様々な姿を見ることができました。収穫後は、3個程度まとめて園児が紐でくくり、テラスにぶら下げています。大小ありましたが合計32個ありました。さらに、ジュンベリーが赤い実をたわわに付けていましたので、もいで食べました。ヒヨが学童の屋根にこちらをむいて止まっていた・・・。「五感は子どもの時にとぎすまされる」をモットーに、身近な自然や植物、生き物等に触れながら保育を展開していきたいと考えています。



## 少数の割り算に初挑戦

2日（水）3校時、5年生の教室へ参観に行くと、何やら重たい雰囲気。みんな懸命に考えて考えて・・・。頭をひねってひねって・・・。皆による討論が続きました。

2.4mで96円のみがあります。このひも、1mの値段を求めると書いてみましょう。

これが皆を悩ませた問題でした。96÷2.4となりますが、除数が整数なら理解できますが、小数となると捉えにくくなる傾向があります。つまり、整数の場合は、〇〇等分した1つ分の値段を求めるという見方で除法を捉えることもできますが、小数の場合を含めるときは、見方を一般化して、1に当たる大きさ（値段）を求めるという説明で除法を捉える必要があります。このことに難しさが発生します。この点については、公式や言葉の式だけでなく、数直線や図などを用いたり具体的な場面に当てはめたりして分かりやすくすることが大切になってきます。この日は、黒板の端から端まで長い数直線が書かれ、そこに10cmずつ区切ったメモリが24本示されたり、様々な式があったりと、授業に向かう児童の真剣な姿があり、学習集団を感じました。今後、同じような課題に取り組むことを通して小数で割っても1つ分当たりの大きさが求められることをつかんでいきます。この課題が終われば、整数÷小数の筆算の仕方を学んでいきます。



## 器械運動に取り組む！

4年体育では器械運動に取り組みました。指導内容は次の通り。

①マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技をすること。②鉄棒運動では、支持系の基本的な技をすること。③跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすること。今回は、鉄棒編です。逆上がり、ひざ掛け振り上がり、片足踏み越し下り（写真）、転向前下り、両ひざ掛け倒立下り、かたひざ回転、支持回転、抱え込み回り等々に挑戦しました。また、技を繰り返したり、技の組み合わせに挑戦したりしました。ここでもタブレットを活用し、友だちの動きをチェックし、改善点を考えていました。朝の会が始まる前、中間休み、お昼休みを利用し、多くの児童が鉄棒練習をしています。支持系や回転系など、非日常的な動きは主に体育の時間で習得します。児童期の体の感覚を養う大切な時期であることを思いつつ指導を積み重ねていきます。



## 1年生を迎える会

3日（木）3校時、1年生を迎える会を実施しました。コロナ禍のもと、1年生と6年生だけの会となりました。6年生が考案した、間違い探し、じゃんけん大会、1年生へのインタビューとプレゼント渡し、6年生との集合写真撮影の5つのプログラムを終えることが出来ました。インタビューでは、6年生がひざまずきながら、1年生にマイクを向けます。好きな食べ物、運動、遊び、キャラクター、テレビ番組、動物、勉強等々、質問をしました。1年生もものおじすることなく

テンポよく答えていました。好きな運動に対して、鉄棒と答える児童が数人いました。中学年が体育で鉄棒の学習をしていましたので、それに刺激されたのでしょうか。うれしい答えが返ってきました。登校後、逆上がりや前回り、足掛け回り等の練習をしている1年生がいます。頼もしい限りです。

6年生主催行事は今回が初めてでした。どんなプログラムを組むのか、試行錯誤する中で準備を進め、リハーサルも行いました。本番ではスムーズに進行しなければなりません。6年生としての責任もついできます。主催行事をやり終え、良かった点や改善すべき点などをきちんと点検し、それを次回の行事に繋げていかなければなりません。事後指導の大切さを感じます。



## まちたんけん

7日（月）、2年生は生活科の時間を使ってまち探検に出かけました。今回は、みんなにお馴染みのよし池公園へ出かけました。生活科の目標は次の通りです。「・・・地域の場所やそこで生活したり働いている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」

今回、学校から目的地に着くまでただ歩くのではなく周囲の景色、建物、土手や田んぼなどに生きている動物などに注意しながら歩くことを意識しました。大きな病院、ビニールハウス、市民センター、住宅街、神社、スーパーマーケット、お寺等を見つけたと学習カードに書かれていました。また、シロツメクサ、タンポポ、シラサギ、アオサギ、オオバコ、モンシロチョウ、梅の木、ゲンゴロウ、カエル、カマキリの卵、クローバー等々動植物もたくさん発見しました。天候に恵まれ、青い空には鮮やかな飛行機雲が延々と続いていました。目的地に着き、計画していた活動を終わると自由時間となり、安全に気を付けながら思い思いに遊んでいました。クローバーで地面が覆われているので、追いかけてたり追いかけられたりと、思い切り走っていました。今後も公共物や公共施設見学の他、身近な自然を観察したりする活動を通して社会及び自然の特徴やそのよさを学習していきます。